

保高発0930第1号

平成26年9月30日

一部改正 平成27年9月30日保高発0930第1号

一部改正 平成28年9月30日保高発0930第6号

一部改正 平成29年9月29日保高発0929第1号

都道府県後期高齢者医療主管課（部）長

都道府県後期高齢者医療広域連合事務局長

殿

厚生労働省保険局高齢者医療課長

（ 公 印 省 略 ）

東日本大震災により被災した後期高齢者医療制度の被保険者に対する
一部負担金の支払いの免除の要件に関する取扱いについて

東日本大震災により被災した後期高齢者医療制度の被保険者に対する一部負担金の免除措置については、「東日本大震災に対処するための特別の財政援助及び助成に関する法律等における医療保険関係の特例措置について」（平成23年5月2日付け保発0502第3号厚生労働省保険局長通知）において、一部負担金の支払いの免除の要件について示してきたところである。

東京電力福島第一原子力発電所事故に伴う旧居住制限区域等（※1）の上位所得層（※2）の被保険者に対する一部負担金の免除措置については、かねてより、平成29年10月1日以降、全額の財政支援を終了することとしているが、一部負担金の支払いの免除の要件についても、下記のとおりとするので、適切な取扱いがなされるよう配慮願いたい。

（※1） 居住制限区域及び避難指示解除準備区域で、①平成28年度に指定が解除された葛尾村の一部、川内村の一部、南相馬市の一部、②平成29年3月末に指定が解除された飯館村の一部、川俣町の一部及び③平成29年4月1日に指定が解除された浪江町の一部及び富岡町の一部をいう。

（※2） 「上位所得層」とは、世帯に属する後期高齢者医療制度の被保険者について、前年における高齢者の医療の確保に関する法律施行令（平成19年政令第318号）第18条第1項第2号に規定する基礎控除後の総所得金額等を合算した額が、600万円を超える世帯に属する者。

記

1 一部負担金の支払いの免除の要件について

後期高齢者医療広域連合は、次のいずれかの要件に該当する被保険者については、「一部負担金の減額、免除又は徴収猶予並びに徴収に関する処分の取扱いについて」（平成20年3月24日付け保総発第0324005号）にかかわらず、高齢者の医療の確保に関する法律（昭和57年法律第80号）第69条第1項第2号の規定により、一部負担金を免除して差し支えないこと。

- ① 平成23年3月11日に特定被災区域（東日本大震災に対処するための特別の財政援助及び助成に関する法律（平成23年法律第40号）第2条第3項に規定する特定被災区域をいう。以下同じ。）に住所を有していた者であって、大震災による被害を受けたことにより、住家の全半壊、全半焼又はこれに準ずる被災をしたもの
- ② 平成23年3月11日に特定被災区域に住所を有していた者であって、大震災による被害を受けたことにより、その者の属する世帯の主たる生計維持者が死亡し、又は重篤な傷病を負ったもの
- ③ 平成23年3月11日に特定被災区域に住所を有していた者であって、大震災による被害を受けたことにより、その者の属する世帯の主たる生計維持者の行方が不明であるもの
- ④ 平成23年3月11日に特定被災区域に住所を有していた者であって、大震災による被害を受けたことにより、その者の属する世帯の主たる生計維持者が業務を廃止し、又は休止したもの
- ⑤ 平成23年3月11日に特定被災区域に住所を有していた者であって、大震災による被害を受けたことにより、その者の属する世帯の主たる生計維持者が失職し、現在収入がないもの
- ⑥ 原子力災害対策特別措置法（平成11年法律第156号）第15条第3項の規定による、避難のための立退きに係る内閣総理大臣の指示の対象地域であるため避難を行ったもの（ただし、当該区域の解除・再編後において居住制限区域又は避難指示解除準備区域に属するものであって、平成29年4月1日以前に避難指示が解除された区域に属するもの、かつ上位所得層に該当するものを除く。）
- ⑦ 原子力災害対策特別措置法第20条第2項の規定による計画的避難区域の設定に係る原子力災害対策本部長の指示の対象となったもの（ただし、当該区域の解除・再編後において居住制限区域又は避難指示解除準備区域に属するものであって、平成29年4月1日以前に避難指示が解除された区域に属するもの、かつ上位所得層に該当するものを除く。）及び原子力災害対策特別措置法第20条第2項の規定による、緊急時避難準備区域の設定に係る原子力災害対策本部長の指示の対象となったもの（上位所得層に該当するものを除く。）

- ⑦の2 特定避難勧奨地点（原子力災害対策特別措置法第17条第9項の規定により設置された原子力災害現地対策本部の長が、事故発生後1年間の積算線量が20mSvを超えると推定されるとして特定されていた住居をいう。）に居住していたため、避難を行ったもの、かつ上位所得層に該当しないもの
- ⑧ その他上記の各号に準ずる者として後期高齢者医療広域連合が認めたもの

2 その他

本通知における一部負担金の支払いの免除の要件についての詳細は、「東日本大震災により被災した被保険者に対する一部負担金等の免除等の取扱いについて」（平成23年5月2日付け保高発0502第1号厚生労働省保険局高齢者医療課長通知）（以下「平成23年課長通知」という。）の「1 一部負担金の免除措置の対象者について」によるものとする。

この場合において、平成23年課長通知の「1 一部負担金の免除措置の対象者について」中「局長通知第2のIVの1の（1）」とあるのは、「東日本大震災により被災した被保険者に対する一部負担金の支払いの免除の要件に関する取扱いについて」（平成26年9月30日付け保高発0930第1号厚生労働省保険局高齢者医療課長通知）の「1 一部負担金の支払いの免除の要件について」と読み替える。